



ふれあい

第75号

やまかみニュース

■発行■ 医療法人 久仁会

homepage <http://www.kyujinkai-mc.or.jp>
E-mail info@kyujinkai-mc.or.jp

鳴門山上病院

介護老人保健施設
いこいの家

鳴山荘

やまかみ 訪問看護
ステーション

鳴門市地域包括
支援センター

やまかみ

TEL687-1234 (代)

TEL687-1005 (代)

TEL683-6205 (代)

TEL683-6727 (代)

〒772-0053 鳴門市鳴門町土佐泊浦字高砂205-29

外 壁 工 事 進 行 中

医療法人 久仁会 理事長 山上 敦子

9月、10月と、県内の過疎地での人口減少に対応した取り組みに触れることができました。地域の方々の熱意と行動力に感嘆すると共に我々は如何にかと焦燥感を覚えました。

まず、9月には美馬市医師会主催の多職種連携研修会にお招きいただき、徳島県医師会常任理事在宅医療担当として「人口減少社会に向かう医療介護の現状と将来予測」をテーマに講演をさせていただきました。研修会には医師、ケアマネジャーのみでなく、その他多職種、行政、民生委員など100人あまりの方が参加され、講演後は熱心にグループワークに取り組んでおられました。10月、11月には在宅医療啓発のためのフォーラムも企画され、そこでは患者さんのご家族も発表されることで大変感動しました。

10月には徳島市で平成29年度中国四国医師会連合総会が開催され、その特別講演で神山町の認定NPOグリーンバレー理事長大南信也氏のお話を拝聴しました。「創造的過疎から考える地方創生」と題して、1991年の「青い目の人形」のアメリカへの里帰り事業を契機に国際交流が芽生え、1997年県の計画に乗り「とくしま国際文化村プロジェクト」を始動させ、アドプト・プログラムを日本初に取り組み、アーティスト・イン・レジデンスを行い、平成29年度現在のワークインレジデンス（町の将来にとって必要な働き手や起業家の誘致）、サテライトオフィス（IT、映像、デザインなど働く場所を選ばない企業の誘致）、神山塾（厚生労働省の基金訓練・求職者支援訓練による後継人材の育成）などの取り組みに拡がっていったという非常に夢のあるお話でした。人が移り住んでくる、還ってくる、留まることを選択するには地域に「可能性が感じられる状況」が不可欠であり、可能性が感じられる状況づくりに必要な施策として①すまいづくり②ひとづくり③しごとづくり④循環の仕組みづくり⑤安心な暮らしづくり⑥関係づくり⑦見える化をあげて、官民一体となって取り組んでおられるとのことでした。ちょうど翌日NHKの「鶴瓶の家族に乾杯」に神山町が出て、その一端を垣間見ることができました。我々の地域にも、危機感を共有し、我がこととしてアイデアを出し、実行していく官民一体チームの必要性を強く感じました。今、種を蒔いて実を結ぶのは20年後かもしれませんが、蒔かないことには始まりません。自分のできることから取り組んでいきたいとの思いを強くしました。

さて、私の取り組みの一つとしては、医療・介護面からの安心な暮らしづくりです。安心して地域で暮らして、年を重ねていけるようなサービスが提供できるように、ハードも整え、ソフトも効率化していきます。ハードについては、新築工事は台風にも負けず順調に経過中です。ソフトについては、まずは、オーダーリングのみであった電子化を完全電子カルテ化し、介護施設も繋ぐように準備中です。また、新病院、新施設に移行するにあたり、業務の見直しを行うためにプロジェクトを立ち上げました。このプロジェクトはfreshな体制で、fine、futureな業務をという意味を込めて、ProjectFと名付けました。職員にメンバーを募ったところ、多くの積極的な応募を得て、10月23日キックオフとなりました。「可能性が感じられる」明るく元気な久仁会とすべく、みんなで取り組んでいきたいと思ひます。

これからも、医療法人久仁会、社会福祉法人鳴寿会ともに「困ったときはやまかみに」と、地域のお役に立てるよう精進して参ります。どうかよろしく願いいたします。

百歳 おめでとうございます

平成29年9月28日に長町様の百歳のお祝いがありました。
ご家族様を始め、沢山の方々がお祝いをしてくださいました。
長町様御本人より「今日は人生で一番最高！」という言葉がありました。
長町様これからも元気に過ごしてくださいね。



寿



祝

敬老会

平成29年度の敬老会が9月16日(土)に1階ホールで開催されました。今年もまた「つたの会」の皆様が訪問してくださいました。
各病棟から、たくさんのお客様や利用者様が集まり、時間が来るのを今か今かと待たれていました。
初めに、マヤすだち保育園の園児の皆さんが可愛いお遊戯を披露して下さいました。
次に「つたの会」の皆様の艶っぽい踊りに一同が目を奪われました。
唄や踊りに楽しいひとときを過ごされ、大盛況の内に終了しました。



9月12日に鳴門市より、99歳以上の患者様、利用者様のお祝いに鳴門市長様を初め、多くの方がお祝いに来てくださいました。
これからも、お元気で
長生きしてくださいね
ご長寿おめでとございます。



敬老訪問



いこいの家 鳴山荘 お誕生会と運動会



10月19日、老健入所者様、利用者様のお誕生会と秋の運動会を開催しました。院内保育所の園児たちも参加して楽しく過ごしました。



通所リハビリテーション ステップ

10月14日(土)に徳島三線サークル「ゆいまる」の皆様が慰問演奏に来てくださいました。楽しい沖縄の唄と踊りに利用者様もスタッフも魅了されました。一緒に歌ったり踊ったり楽しいひとときをありがとうございました。また、ご来院下さい。お待ちしております。



平成29年7月19日（水）薬学部在籍の学生さんの見学がありました。
お手紙をいただきましたので、ご紹介したいと思います。

医療法人久仁会鳴門山上病院を見学して
＜見学内容＞

- ・患者の家族を含めたカンファレンス
- ・医師の診察から院内での調剤までの流れ
- ・高齢者医療の現状と課題について



＜感想＞

大阪大学薬学部薬学科 5年 森 七海

今回の鳴門山上病院の見学と、それまでの千里秋葉薬局での実習を通して、「地域包括ケア」という概念に対する印象が大きく変わりました。今までも授業や病院見学を通じて「地域での高齢者サポート」という話は聞いていましたが、「あくまでも薬剤師は医師の指示のもと調剤し、服薬指導を通じて患者に関わる」という認識でした。そのため、鳴門山上病院の診察室で医師と薬剤師、そして患者さんを含めて処方薬を決定しているのを見てとても驚きました。また、カンファレンスでは医師、薬剤師以外にも看護師、ソワニエ（介護士）、栄養士、ソーシャルワーカー、理学療法士、作業療法士（退院前にはケアマネージャーが参加されるそうです）がそれぞれの立場から対等に意見を出し合って治療方針を相談していました。薬剤師の意見がここまで治療方針に反映されるのか、と思うと同時に、今までの自分の認識がいかに間違っていたのかを再認識しました。

鳴門山上病院の見学を経てもう1つ気づかされたことは「病院薬剤師」と「薬局薬剤師」の連携です。当然連携すべきところなのに、そのつながりの存在と重要性は今まで1度も考えたことがありませんでした。地域包括ケアシステムにおいて「医療」「介護」「生活支援、介護予防」と「患者とその家族」の連携については考えることがありますが、「医療」の中での具体的な連携については考えていなかったため、「薬局薬剤師」と「病院薬剤師」との連携に重点をおいているのはとても新鮮でした。そして、今後地域をあげて高齢者をサポートするにあたり、大切なことだと思いました。

私はまだ病院薬剤師になりたいのか、薬局薬剤師になりたいのか自分の将来が明確ではありません。今回の見学を通して発見した「鳴門山上病院で薬剤師に求められていること」「鳴門山上病院で薬剤師としてできること」はとても魅力的であり、改めて自分はどの立場から患者さんに関わりたいのかを考え直すきっかけになりました。また、今回は慢性期の病院でしたが、急性期の病院では何が求められるのか、何ができるのかが違うということも再認識できたので、これからの大学生活、就職活動に生かしていこうと思います。

＜感想＞

神戸薬科大学薬学部 5年 山口 想宇生

この研修を受ける以前は、病院薬剤師は調剤室で黙々と調剤をし続けるという印象でした。

しかし、この研修を受けて、病院薬剤師の印象、更には病院そのものの印象が大きく変化しました。最初のカリキュラムである医師の診察風景を見学して感じたことは、丁寧語をあえて使わないで、方言を使うことや、ボディタッチをすることで、患者さんの不安や緊張を取り除いていると感じました。また、付き添い者（介護士など）を患者さんの傍に寄り添わせることで、医師と介護士間で情報を共有することができ、患者さんにとって親密感のあるよりよい診察を行っている印象を受けました。

薬剤部の見学では、薬局では見ることがなかった病院ならではの設備や工夫が見受けられました。その中で一番印象に残ったのは監査システムです。例えば、散薬監査システム付き調剤台というものにより、散薬のバーコードを読み取り、薬品名、秤量数が表示され、記録として紙に残る。このことから、目視では難しい散薬の監査を確実にに行っていることに興味を持ちました。

次に、カンファレンスの見学では、医師、薬剤師、看護師、栄養士、PT、ST、MSW、介護士がそれぞれ、患者さんに対しての情報を共有している場面を肌で感じることができました。その時、大切だと感じたことは、そのカンファレンスに親族が参席していることでした。親族が参加することにより、各々の専門家の治療のアプローチ、患者さんの情報を知ることができ、また、親族の要望も直接伝えることができ、より意義のあるカンファレンスを実現させていると感じました。

最後に賀勢先生のレクチャーを受けたことで、超高齢化社会を突き進む日本で、今後必要とされるのはどのような薬剤師か、経験や知識を生かして教えて頂き、自分が将来になりたい薬剤師像が明確になりました。1日を通して、実際に医療の現場を目にする有意義な時間を過ごすことができ、自分の将来について深く考えるきっかけとなりました。

元気で長生きしてね♪

10月4日、今年も鳴門東小学校の生徒の皆さんが敬老訪問に来院してくださいました。

生徒さんたちの元気な歌声やハンドベルの演奏、ダンス・劇などを楽しく拝見させていただきました。

また、生徒さんが肩たたきを下さり本当に楽しいひとときを過ごされました。

生徒の皆さん本当にありがとうございました



鳴門東小学校の皆さん



おばあちゃんありがとう
おじいちゃんありがとう



毎年、10月の気候の良い時期に地域の鳴門東小学校の生徒さんが敬老訪問に訪問してくださいます。

元気ではつらつとした踊りや劇や歌を披露してくださり、利用者の皆様も孫？ひ孫？が来るかのように待ち望んでおられます。肩たたきをしながらかような話をしたりして楽しいひとときを過ごされます。訪問してくださいました後は生き生きとして、活気に満ちあふれるようです。

この度、鳴門東小の良さをアピールしたポスターを作成され、当院にも掲示させていただきました。 「地域の子供は地域で育む」というスローガンに私どもも参加させていたただきたいと思います。



マーヤすだち保育園便り



8月 なつまつりでお買い物をして、みんなでわたがしを食べたよ♪
あま〜〜くて、とってもおいしかったね♪♪♪



どう？ダンス、じょうずでしょ！？

9月 3人のお友だちのおたんじょう会をしました。敬老会では、初めての参加のお友だちが多かったけど、みんなガンバって可愛くおどりました。



9月生まれのお友だちです♪



10月 老健のうんどう会で、「たまいれ」と「おかしつり」をしました。ちからいっぱいがんばりました。



「ほうさいずきん」を買ってもらいました。
ときどきかぶって、くねんしています。
みんなじょうずにできていますね。。



なつまつり



8月19日(土)に恒例の夏祭りが開催されました。新病院建築に伴い1階ホールでの夏祭りは今年で最後となります。患者様、利用者様、ご家族様で大変なにごわいとなりました。
アコースティックギターやバンド演奏、バザーなど盛りだくさんで楽しく過ごしていただきました。



はじめまして



松下 晃大くん
3ヶ月



久次米 きぬちゃん
4ヶ月



田村 瑠衣ちゃん
1さい

☆パパより一言☆
元気にすくすく育ってね

☆ママより一言☆
強くたくましく育ってね

☆ママより一言☆
すくすく元気に育ってね。

調理で使う『自助(じじょ)具(ぐ)』をご紹介します

リハビリテーション部門 統括副士長 作業療法士 木内千世

炊事が好きな人にとっての『炊事』とは、調理する楽しさや、調理したものを家族や知人にふるまって喜ばれる充実感、家庭内の役割獲得や達成感などが感じられる作業のひとつです。今回は炊事の『調理』で使える自助具を一部ご紹介します。

- ① 蓋あけ・プルトップあけ … 少ない力で瓶や缶を開けやすくする道具
- ② 滑り止めマット・ぬれ布巾 … 瓶や缶、食材、調理道具、食器などの固定を補助
- ③ ピーラー … 皮むきなど下ごしらえに便利な道具
- ④ 皮むきグローブ … 凸凹の付いた手袋で、じゃが芋などの薄い皮をむく道具
- ⑤ 垂直柄の包丁 … 刃から垂直に柄の付いた包丁で、リウマチなどによる手の変形を予防する道具
- ⑥ 包丁を一部固定して、『てこ』の原理を応用した包丁とまな板
- ⑦ 食材などの固定機能があるまな板 … まな板に『釘付き部分で野菜を固定し、切ったり皮を向いたりする作業を補助するもの』『瓶などの蓋をあける際の補助ベルトがついたもの』などの機能がついたまな板

※ ②③⑤⑥⑦は、現在リハビリ室に見本があります。

炊事の一般的な作業には『献立を考える』、『材料を用意する』、『調理する』、『盛り付ける』、『配膳する』、『後片付けをする』とさまざまな工程があります。また、炊事には刃物や火気を扱うので、怪我や火傷には充分注意が必要です。食べ物を扱うので、衛生面にも充分な注意が必要です。自助具は安全で、使いやすく、洗いやすく、収納しやすいものが良いでしょう。さらに、いくら便利な道具でも仰々しい見た目では使う気持ちにはなりません。道具のデザインも、使う方の好みにあったものが良いでしょう。生活する中で炊事動作や方法・環境の工夫で、徐々に不要になる自助具もあります。その時々に応じた見直しも必要です。

自助具とは、自ら好きなことができるようになるために使用する道具のひとつです。自助具に興味・関心のある方は、リハビリ職員へお声かけください。

8月31日、院内勉強会で「AEDを用いたBLS(一時救命処置法)／ACLS(二次救命処置法)講習会」が開催されました。

鳴門市消防本部の方の指導を受けながら、救急時の「AED」の正しい使用方法などについて実際に体験しながら訓練を行いました。人命救助の最初の段階での蘇生方法として分からないことや注意事項など、真剣に取り組んでいました。



AED
を
使
用
し
て
の
訓
練

大根ステーキ

管理栄養士 明賀 由佳

《材料 4 人分》

大根	1/3本
人参	1本
白ねぎ	1本
エリンギ	2本
バター	大さじ2
サラダ油	大さじ3～5
小麦粉	大さじ4
バジル（粉）	少々
醤油	大さじ1
塩、こしょう	少々



《作り方》

1. 大根は1cm程度の輪切りにし、表面に切り込みを入れる。人参は拍子木切り、ねぎは斜め切り、エリンギはスライスする。
2. 大根と人参に塩、胡椒、バジルをふり、小麦粉をまぶす。
3. バターと油を熱し、大根と人参に火が通るまで焼く。
4. 3に白ねぎとエリンギを加えてさっと炒め、最後に醤油で味をつける。

※ポイント

大根に切り込みを入れると火が通りやすいです。

多めの油でカリッと芳ばしく揚げ焼きのようにするのが美味しく仕上げるコツです。

バジルの代わりにカレー粉を使ったり、塩をハーブソルトにしてみるのもオススメです。

大根のお話

鳴門では、さつま芋と大根の二毛作をしている畑をよく見かけます。秋も深まり、「大根葉いらんで〜？」という声が聞こえ始めました。

おでん、サラダ、たくあん、おろし煮…とっても身近で低カロリーな野菜、大根について少しご紹介したいと思います。

★根の部分は淡色野菜

根の部分にはこれと言った栄養成分は含まれておらず、水分が多く栄養価は低いので、低カロリーながら満腹感を得られるダイエット食と言えますね。

★葉の部分は緑黄色野菜

ビタミンCやE、カリウム、カルシウムを多く含んでいます。β-カロテンはかなり多いです。

★大根の汁とでんぷんで水あめができる！？

大根にはジアスターゼというでんぷん分解酵素が多く含まれており、でんぷんに大根の汁を混ぜ合わせると分解が始まり糖に変わります。その為、消化を助け、胃酸過多、胃もたれや、胸やけなどに効果があるそうです。

大根もちには甘味がありますよね。あれはこの作用をうまく取り入れた料理です。

秋のイベント食

提供（エーム株式会社）



★ 敬老の日 9/19

- ・赤飯
- ・清まし汁
- ・天ぷら盛り合わせ
- ・炊き合わせ
- ・抹茶ババロア

敬老の日のお祝いとして、ごま砂糖をかけた鳴門風の赤飯を提供させていただきました。



★ 十五夜 9/15

- ・ゆかりご飯(半量)
- ・月見そば
- ・鶏肉の七味焼き
- ・ゆず大根
- ・さつまいも団子

十五夜にちなみ、お月見料理を提供させていただきました。デザートには旬のさつまいもを使って月見団子を作りました。



非常食ランチ

9月22日、非常食入れ替えのため、年1回の非常食ランチを行いました。

メニュー★アルファ化米(五目ご飯、わかめご飯のどちらか1種を選択)★おかず3品、フルーツ(卵焼き、オクラのお浸し、ひじきと油揚げの煮物、みかん缶)★味噌汁(花麴、わかめ)※入院患者様、入所者様には主食のみ備蓄食品使用



★ 阿波踊り 8/10

- 生姜と枝豆の炊き込みご飯
- 清まし汁
- 天ぷら盛り合わせ
- おくらと長芋の和え物
- ぶどうゼリー

清まし汁にすだちを使用し、徳島らしさを出しました。新生姜を使った炊き込みご飯は香りよく仕上がりました。

今回は敬老の記事を多く掲載させていただきました。大変な時代をくぐり抜けて来られた大先輩の皆様、心よりの敬服とお慶びを申し上げます。

当院をご利用の患者様・利用者様のご家族の皆様には毎日お見舞いに来られる方もお見舞いに来られる方も小さいお子さん連れの方でも来られ、頭の下がる思いでのご挨拶させていただきます。

医療・介護等に関するご相談・お問い合わせは遠慮なくスタッフまでお声かけ下さい。

編集委員会 大汐

編集後記



院内行事予定